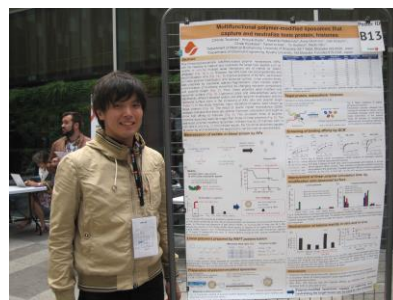


International Conference on Nanomedicine And Nanobiotechnology

(ICONAN 2016) にてポスター発表

抗体医薬品は、標的高分子に対する高い特異性ととも副作用が少ないことで注目されているが、生産コストが高く、不安定である。私は、抗体医薬品の弱点を改善するために、安価な材料で簡単に作製可能であり、作製後も長期間保存可能なポリマーナノ粒子を作製し、ポリマーナノ粒子の人工抗体としての可能性を証明するために研究を行っている。そこで、今回ナノバイオテクノロジー分野における最先端の研究を行っている研究者たちが集う本学会に参加し、自分の研究成果を報告した。ヨーロッパ、アメリカ、アジアのトップレベルの研究者たちが参加しており、シンポジウムでは世界で行われているナノテクノロジー研究の最新の情報を得ることができた。また、多くの研究分野の研究者たちが集ったため、多岐に渡るナノテクノロジーの知識を得ることができた。さらに、世界各地の研究者から自分の研究について様々な意見を聞くことができ、新たな着眼点を見出すことができた。ここで得た知識や意見は今後自分の研究へ応用可能であるため、さらに研究を発展させることができると思う。また、2度目の国際学会への参加であったため、前回よりも世界の研究者たちと英語で活発なディスカッションを行うことができた。しかし、まだまだ英語力は不足していると感じたため、英語の勉強（特に聞く能力、話す能力を高める勉強）にさらに力を入れようと思った。本学会に参加したことで、残りの学生生活だけでなく、来年企業の研究者となっても役立つ知識や技術について知ることができたため、非常に有意義な経験となった。本学会へ参加するための支援をいただけたことに感謝したい。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 医薬生命化学教室 土田 大貴